

第23回 全国高校生ドイツ語スピーチコンテストを開催

11月14日、外国語学部主催「第23回全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト」がZoomウェビナーを利用しオンライン(ライブ配信型)で開催された。

当初は対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延状況を受け、急きょ開催方法をオンラインに変更して実施した。

当日は、応募総数206名のうち、予選を勝ち抜いた20名(第1部朗読部門7名、第2部プレゼンテーション部門8名、第3部フリースピーチ部門5名)が本選の舞台に臨んだ。

審査の結果、第1位の最優秀賞には、第1部からは堀内万菜さん(東京都・学習院女子高等科2年)が、第2部から関根ジンさん(埼玉県・伊奈学園総合高等学校3年)が、第3部からは三ッ橋慧さん(埼玉県・獨協埼玉高等学校2年)が選ばれた。



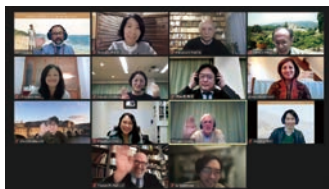
第32回獨協インターナショナル・フォーラム 「アルペール・カミュ:生きることへの愛」開催

12月3日・4日、第32回獨協インターナショナル・フォーラム「アルペール・カミュ:生きることへの愛」がオンラインにて開催され、100名以上の参加者が視聴した。コーディネーターは、根木昭英外国語学部フランス語学科専任講師が務めた。

本フォーラムでは、人間にとっての根源的価値である正義と自由を愛し、それを守り抜こうとしたアルペール・カミュの作品を通して、愛の作家としてのカミュ像にせまった。

海外(フランス、アメリカ、カナダ、台湾、韓国)からの講演者を含め、17名の研究者による講演・討論と本学学生による朗読が行われた。参加者からも活発な質疑があり、カミュの「生きることへの愛」についての議論を深めた。

また、本学図書館では、本フォーラムに関連した企画の展示を行った(天野記念館メインエントランス・展示スペース・11月17日~12月9日)。この展示では、代表的な著作『異邦人』(L'Étranger)、『ペスト』(La Peste)や当時の新聞記事など、本学図書館所蔵の資料や個人所蔵の資料から、カミュの思想やその受容の一端を紹介した。なお、本学図書館所蔵の資料については、一部を除いて利用が可能となっている。



フォーラムで講演・発表した研究者



カミュ作品の朗読を終えて



図書館前で行われた企画展示

第9回 全国高校生英語プレゼンテーションコンテストを開催

10月31日、外国語学部主催「第9回全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」がオンラインで開催された。当初10月17日の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症リスク回避のため、本選日程を変更して初のオンライン実施となった。

当コンテストは、高校生が英語を使って自らの考えを発表する機会提供を目的に2013年より毎年継続し、今回で9回目。当日は、応募総数118名の予選を勝ち抜いた高校生7名がZoomに参加。各自が事前に録画・提出したプレゼンテーションを互いに視聴した。第1位の獨協大学学長賞には、和田優理香さん(茨城県・茗溪学園高等学校1年)が選ばれた。

本選結果は大学ホームページを参照。

www.dokkyo.ac.jp/about/outline/events/e_presentation/

2021年度ホームカミングデー 2011&2020卒業生の集い 開催

11月13日、天野貞祐記念館大講堂にて、「2021年度ホームカミングデー2011&2020卒業生の集い」を開催し、約200名が参加した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式が中止となった2020年3月卒業生、東日本大震災の影響で卒業式が中止となった2011年3月卒業生を対象とし、不測の事態により節目となる卒業式が行われなかった卒業生に対し、卒業式に準じたホームカミングデーを実施した。

式典で、山路朝彦学長は「不測の事態の中で卒業していった皆さんを、今日お迎えすることができ、心から嬉しく、歓迎申し上げます。いかなる困難の中でも、冷静に整然と行動し、強い意志を持ち、思慮深く、隣人(となりびと)にやさしく、そして健康で幸せな人生を過ごされることを改めて願っています」と式辞を述べた。

また、卒業生代表として2020年3月当時の総代である中嶋悠人さん(20年律卒)と副総代の高倉万由子さん(20年総卒)が登場し「大学の4年間、多くのことを教え、見守ってくださった先生方、学生生活を支えてくださった職員の皆様、そして私たちを育て、見守り続けている両親と家族に、心より感謝いたします。獨協大学が、一步一步確実に、このコロナ禍を乗り越え、ますます発展し、多くの優秀な学生を未来に向けて輩出されることを祈念して、卒業生代表挨拶とさせていただきます」と述べた。

卒業生をゲストに招いたトークイベントでは、映画「翔んで埼玉」、「ルパンの娘」など、数多くのヒット作品を手掛ける脚本家の徳永友一氏(01年律卒)と、同映画の監督である武内英樹氏の両名が登場した。映画やドラマの脚本づくりにまつわるさまざまな話の後、卒業生、在学生への励ましのメッセージをいただいた。

その後、学部ごとに教室に分かれて懇親会が行われ、参加者は恩師や友人との久しぶりの再会を楽しんでいる様子だった。

